

*Jiaozi of Song Dynasty — The World's First Paper Money*

## 宋の「交子」世界初の紙幣

---

中国・四川の商人たちが重い鉄銭の代わりに紙の証書を流通させた。お金が「モノ」から「記号」へ変わり始めた革命的瞬間。

---

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

#### WHAT HAPPENED

## 何が起きたか

10世紀後半、中国の宋王朝の時代。四川地方では銅銭が不足し、代わりに重くかさばる鉄銭が流通していた。鉄銭1000枚で約25kgにもなり、大規模な商取引には極めて不便だった。

成都の商人たちは、鉄銭を信用ある店に預け、代わりに「交子」と呼ばれる預かり証書を受け取る仕組みを考案した。この証書が商人間で流通し始め、事実上の紙幣として機能するようになった。

1023年、宋朝政府は民間の交子発行を禁止し、国家が公式に「官交子」を発行する制度を整えた。政府公認の紙幣制度の誕生である。

---

#### WHY IT HAPPENED

## なぜ起きたか

交子が生まれた背景には、宋代中国の驚異的な経済発展がある。

- 人口1億人を超え、都市商業が爆発的に成長
- 四川は鉄の産地で鉄銭が流通したが、重量が取引の障害に
- 長距離交易の拡大で、軽量で持ち運びやすい決済手段が求められた
- 印刷技術（木版印刷）の発達が、証書の大量生産を可能にした

技術（印刷）と経済的ニーズ（軽量な交換媒体）が結びついた結果、紙幣というイノベーションが生まれた。ヨーロッパで紙幣が登場するのは、これより700年以上後のことだ。

---

#### WHAT CHANGED

## 何が変わったか

交子の登場は、お金の概念を根本から変えた。金属の重さや素材に価値が宿るのではなく、「信用」と「約束」に価値が宿る時代の始まりだ。

紙幣の本質は「紙」ではない。「これを持っていけば、誰かが価値を認めてくれる」という集合的な信用である。

しかし交子は、紙幣の持つ根源的なリスクも早くに示した。南宋政府は戦費調達のために交子を大量発行し、深刻なインフレーションを引き起こした。紙幣の裏付けとなる準備金が不足し、交子の

価値は暴落した。

元朝のフビライ・ハンも紙幣制度を採用したが、やはり過剰発行でインフレに陥った。マルコ・ポーロはこの制度を「錬金術のようだ」と驚嘆して記録している。

---

#### LEGACY

### 今に残っているもの

交子が示した2つの真実は、1000年後の今も変わっていない。

- 紙幣（法定通貨）は経済を飛躍的に効率化する — 現代経済は紙幣なしに成り立たない
  - 通貨の過剰発行はインフレを引き起こす — 2020年代の世界的インフレも同じ構造
  - 通貨の価値は政府の信用に依存する — 信用が失われれば紙幣は紙切れになる
  - デジタル通貨は交子の延長線上にある — お金の非物質化は1000年前に始まった
- 

#### FOR INVESTORS

### 投資家にとっての意味

- お金の本質は物質ではなく信用である。この認識は、法定通貨・暗号資産・デジタル通貨を理解する鍵になる
  - 通貨の過剰発行→インフレ→通貨価値の毀損というサイクルは1000年前から同じ。インフレ耐性のある資産配分が重要な理由だ
  - 技術革新が金融を変える。印刷が交子を生んだように、ブロックチェーンがビットコインを生んだ
  - 政府が通貨発行権を持つことの意味と危険を、歴史的視点で理解できる
- 

#### KEY TERMS

### 関連用語

交子（こうし/ジャオズ）

北宋時代（10世紀末）に四川で生まれた世界初の紙幣。商人の預かり証書から政府公認の通貨へ発展。

法定通貨（fiat money）

政府が法的に価値を保証する通貨。金や銀による裏付けを持たない。現代の紙幣はすべて法定通貨。

### 通貨膨張

通貨の過剰発行による貨幣価値の下落。南宋・元朝の交子乱発は歴史上最初の顕著な事例。

### 木版印刷

中国で発達した印刷技術。交子の大量生産を可能にした技術的基盤。

---

## 投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

投資は自己責任です。このサイトの内容は情報提供を目的とし、投資助言ではありません。